

第43回 広瀬川創生プラン策定推進協議会

日 時：令和4年3月14日（月）10:00～11:30

場 所：「Webex Meetings」を利用したオンライン開催

次 第

1. 開 会

2. 挨 拶

3. 議 事

(1) 令和3年度重点事業の評価及び取組事業の報告について 資料1 資料2

(2) 令和4年度重点事業の設定及び取組事業の更新について 資料3 資料4

(3) 広瀬川ゴールドサポーターの認定について 資料5

(4) 広瀬川グリーンサポーターの認定の報告について 資料6

4. その他

(1) 第40回全国都市緑化仙台フェアについて 資料7

5. 閉 会

○配布資料

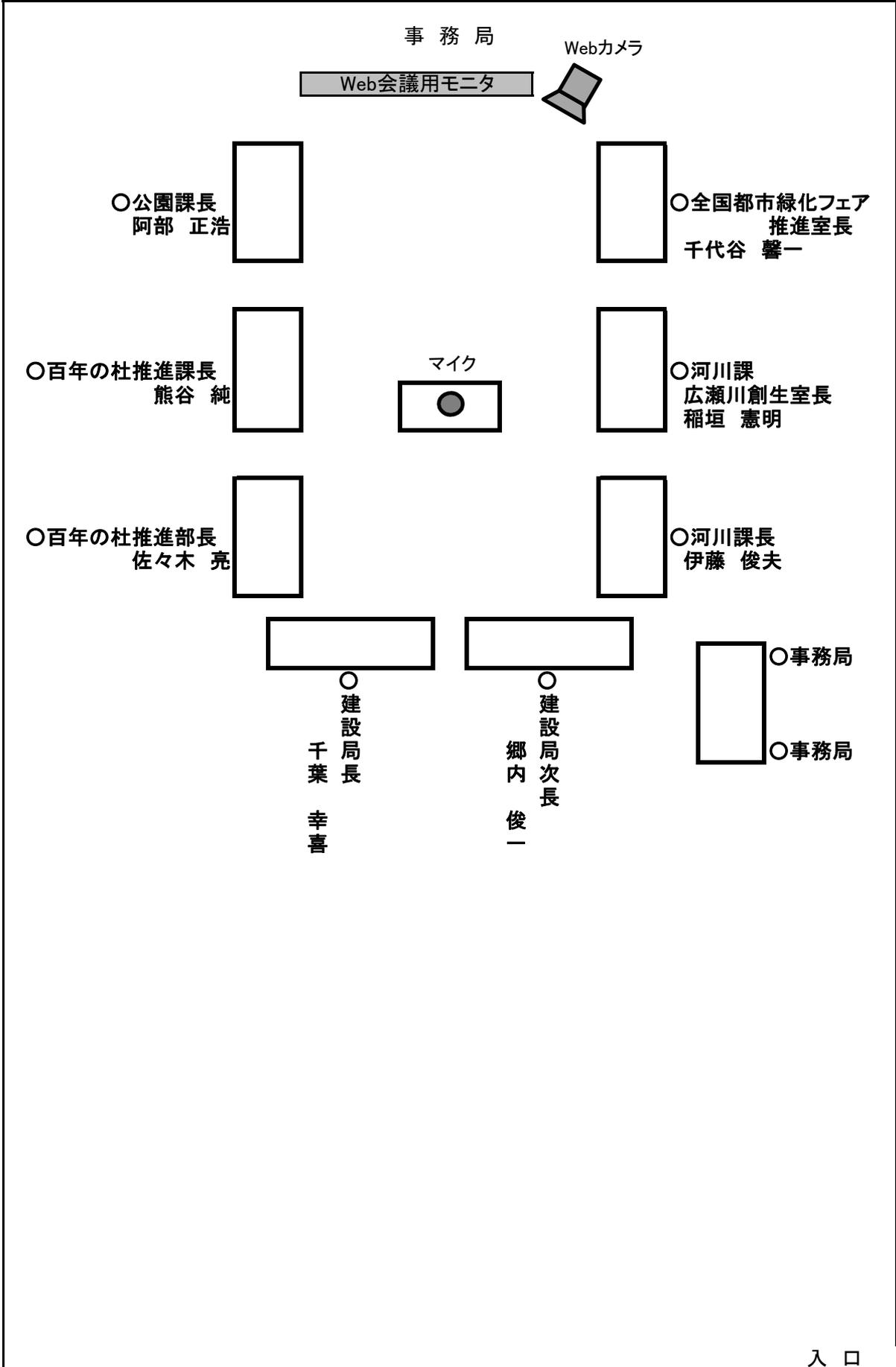
資料1	令和3年度重点事業の評価及び取組事業の報告について
資料2	令和3年度取組事業一覧
資料3	令和4年度重点事業の設定及び取組事業の更新について
資料4	令和4年度取組事業一覧
資料5	広瀬川ゴールドサポーターの認定について
資料6	広瀬川グリーンサポーターの認定の報告について
資料7	第40回全国都市緑化仙台フェアについて
参考資料1	広瀬川魅力創生サポーター認定制度（お知らせのチラシ）

第43回 広瀬川創生プラン策定推進協議会 席次表

日時： 令和4年3月14日(月) 10時00分～11時30分

場所： 本庁舎2階会議室

(「Webex Meetings」を利用したオンライン開催)



広瀬川創生プラン策定推進協議会委員名簿

第8期（令和2年4月1日～令和4年3月31日）

役職	氏名	役職又は団体名	出欠
	岩崎 雄一郎	東北電力株式会社宮城支店 広報担当部長	
	大庭 克己	仙台商工会議所 中小企業支援部次長 地域づくり推進グループ担当	
会長代理	小田 隆史	宮城教育大学 防災教育研修機構 副機構長・准教授	
会長	小祝 慶紀	東北工業大学ライフデザイン学部 経営コミュニケーション学科教授	
	鈴木 典宏	宮城県仙台土木事務所 河川部河川砂防第一班技術主幹(班長)	
	須藤 誠元	国土交通省東北地方整備局 仙台河川国道事務所調査第一課長	
	高橋 順子	公益財団法人仙台ひと・まち交流財団 仙台市片平市民センター片平児童館 館長	議事内容につき 事前説明済み
	多田 千佳	東北大学大学院農学研究科 准教授	
	手島 慧	株式会社JTB仙台支店 営業第一課	
	豊嶋 純一	特定非営利活動法人都市デザインワークス せんだいセントラルパーク縁長	
	西大立目 祥子	フリーライター 青空編集室主宰	
	深松 努	広瀬川1万人プロジェクト実行委員会 副委員長	
	牧野 弘明	ニッカウキスキー株式会社仙台工場 理事工場長	欠席
	守 修一	公益財団法人仙台観光国際協会 副理事長	
	谷田貝 泰子	特定非営利活動法人水・環境ネット東北 事務局長	

(敬称略・五十音順)

令和3年度重点事業の評価及び 取組事業の報告について

建設局百年の杜推進部河川課

広瀬川創生プランに基づく取組事業のうち重点的に取組む事業を認定しており、毎年度見直しを行っている。

重点事業認定の基本的な考え方

※広瀬川創生プランより抜粋

●多様な主体が参画できること

市民・NPO・行政・企業などの多様な主体が、お互いを尊重しつつ力を合わせて協働できるもの

●多くの市民が関わるができること

多くの市民が気軽にかつ自発的に参加することができるようなもの

●あらゆる方面への波及効果が高いこと

世代・地域・立場などを超えて、取組みの成果が幅広く波及するもの

●ソフト中心の取り組みであること

川づくりの中でも、広瀬川の自然環境等を活かしたソフト中心のもの

令和3年度の重点事業について

■重点事業1 「広瀬川1万人プロジェクト」の実施

事業概要	広瀬川流域における一斉清掃
成果目標	参加者数 約1,800人程度（令和元年度参加者数の約半数） ※令和2年度は秋のみ開催、コロナ対策として参加人数を制限
実施主体	広瀬川1万人プロジェクト実行委員会

■重点事業2 アイラブ広瀬川プロジェクトの実施

事業概要	広瀬川の魅力を再認識できる取組み（例：広瀬川のまち歩き、環境学習など）
成果目標	広瀬川の魅力を再認識してもらおう。（本市が実施主体となる取組みでは参加した方の80%以上に満足していただくことを目標とする。）
実施主体	仙台市、その他活動団体

【参考】第19回広瀬川創生プラン策定推進協議会より

- ・重点事業のうち自己資金による運営が困難な事業に負担金を支出する。

令和3年度重点事業の評価について

(実施状況)

【重点事業1】「広瀬川1万人プロジェクト」の実施	
・ 春の流域一斉清掃（4月24日）	中止
・ 秋の流域一斉清掃（10月2日）	○
【重点事業2】アイラブ広瀬川プロジェクトの実施	
・ 広瀬川自然体験学習	中止
・ 広瀬川ガイドのためのスキルアップ講座（10月7日）	○
・ ヒロセガワプレーパーク（12月14日）	○

【重点事業1】 広瀬川1万人プロジェクトの実施

会場名	秋の流域一斉清掃		備考
	参加者数	ゴミの数	
①作並	66	12	
②野川橋	25	5	
③折立	25	4	
④牛越橋	61	13	
⑤澱橋	184	9	
⑥中ノ瀬橋	38	5	新規会場
⑦大橋左岸	63	4	
⑧大橋右岸	42	3	
⑨米ヶ袋	55	15	
⑩宮沢橋	79	4	
⑪八本松	65	5	
⑫千代大橋	117	31	
⑬太白大橋	33	20	
⑭名取川鉄道橋	12	10	
⑮閑上海岸	109	52	
⑯かわまちてらす閑上	39	3	
⑰荒浜海岸	59	25	
合計	1,072 (-209)	220 (+6)	() は昨年秋からの増減

【重点事業1】 広瀬川1万人プロジェクトの実施

■ 成果目標

参加者数 約1,800人程度（令和元年度参加者数の約半数）

※令和元年度参加者数 春：1,522人、秋：2,142人

■ 評価

当年度は新型コロナウイルス感染症の影響もあり参加者数は1,072人となったが、これは令和元年度秋の参加者数2,142人の約半数であり、令和元年度秋との比較では目標は達成した。

＜参加者写真＞ 感染対策を行いながらの清掃活動の様子



■ 来年度に向けて

当年度秋の参加者数は、コロナ禍前（令和元年度秋一斉清掃）の約半数だったが、回収したごみの数は昨年度秋の214袋から220袋となっており、来年度以降も参加者の密集回避を行い、効果的な清掃活動に努めたい。

また、会場担当を担う団体を増やすため、広瀬川魅力創生サポーター認定制度のゴールドサポーターの対象事業となっていることをPRするなど、本市も会場担当の担い手を増やす活動を今後も支援していく。

【重点事業2】 アイラブ広瀬川プロジェクトの実施① 広瀬川ガイドのためのスキルアップ講座

- 名称：広瀬川ガイドのためのスキルアップ講座
- 開催日：令和3年10月7日（木）
- 主催：仙台市片平市民センター
- 共催：仙台市河川課広瀬川創生室
- 場所：片平市民センター 会議室
- 講師：西大立目 祥子氏
- 参加者：26名（応募者は33名）
- 内容：片平市民センターを拠点に活動する「広瀬川をゆっくり歩く会」のメンバーおよび広瀬川に興味をもつ一般市民を中心に、広瀬川に係るガイドとしての「スキルアップ講座」を実施する。



<写真>
スキルアップ講座を
受講中の様子

【重点事業2】 アイラブ広瀬川プロジェクトの実施① 広瀬川ガイドのためのスキルアップ講座

■ 成果目標

受講者に広瀬川の魅力を再認識してもらう

■ 評価

受講者26名のうち20名から講座内容に関するアンケートの回答があり、『仙台が全国に先駆けて、地元学の活動を行ったという話に感銘を受けた』『「地域住民がガイドをする意味について」が心に響きました。学者やプロと違う、生活者の視点の大切さ、その価値について改めて教えていただきました。』などの高評価を得られた。

■ 来年度に向けて

今回はコロナの影響もある中、定員を超える受講者からの応募があった。今後も引き続き、片平市民センターと協力しながら、さらに広瀬川の魅力を再認識してもらえる企画を検討していきたい。

【重点事業2】 アイラブ広瀬川プロジェクトの実施② ヒロセガワプレーパーク

- 名称：ヒロセガワプレーパーク
- 開催日：令和3年12月14日（火）10：00～14：00
- 主催：都市デザインワークス
- 共催：仙台市河川課広瀬川創生室
- 場所：広瀬川大橋上流左岸
- 参加者：11組28名（まちづくりトーク・サウナの参加者を除く）
- 内容：西公園プレーパークの会の協力を得て、冬の広瀬川でプレーパーク（※）を開催する。 ※既成の遊具を置かず、子どもたちが工夫して遊びを作り出すようにしている遊び場のこと。



【重点事業2】 アイラブ広瀬川プロジェクトの実施② ヒロセガワプレーパーク

■ 成果目標

参加者に広瀬川の魅力を再認識してもらう

■ 評価

参加者へのアンケートでは、印象に残っている体験として『歩道から広瀬川にくだる』『オナモミをくっつける』『石や植物をひろう』との感想が得られ、また、回答者全員から「満足」または「やや満足」と高評価を得られた。

＜参加者写真＞ クリスマスツリーが描かれた布に河川敷のオナモミをくっつけている様子



■ 西公園プレーパークの会からのコメント

広瀬川は豊かな自然を身近に感じさせてくれる存在。生き物も多様で、四季折々に楽しい。西公園と広瀬川が隣り合うこのエリアは、“遊び”の観点から見ても、とても魅力的。大人も子どもも気軽に楽しめるようになるといいですね。違う季節でも携わりたいです。

令和2年度から継続して活動中の団体とその他広瀬川に関わる活動を実施中の団体に対して、河川課から実施状況を確認した。（資料2参照）

- 昨年度からの継続事業が72あり、また、当年度から新たに追加となった新規事業が11ある。
- 新規事業11のうち6事業は、当年度から新たに活動団体として追加となった5団体が実施している。

令和3年度取組事業の報告について

■新規事業（11件）

	活動団体名	取組事業名	実施状況
①	広瀬川市民会議	川内・亀岡の歴史散策	実施
②	都市デザインワークス	広瀬川自転車ライド	コロナで実施無
③	仙台市カヌー協会	カヌー体験会	実施
④	広瀬川リバーサイドヒーリング協議会	広瀬川を観光のフィールドに！本・食・障害者アートに没入する「知の空間体験」	当年度は不採択
⑤	建設局河川課	広瀬川インスタグラム	実施
⑥	建設局河川課・東北工業大学	東北工業大学ライフデザイン学部生連携事業	実施
⑦	関山街道フォーラム協議会	関山街道の四季フォトコンテスト	実施
⑧		関山街道作並地区を巡る探訪会 ～「関山街道開鑿殉難之地」の碑での慰霊の集いと隠れ滝探訪～	実施
⑨	白沢カルデラプロジェクト実行委員会	白沢カルデラ外輪山を歩こう会 (白沢カルデラ実働部隊)	実施
⑩	西公園プレーパークの会	ヒロセガワプレーパーク	実施
⑪	カワラカイ	ミスベフェスタ(若者版・市民協働事業提案制度令和3年度事業)	実施

建設局河川課と東北工業大学との連携事業

- 名 称：東北工業大学ライフデザイン学部生連携事業
(東北工業大学の学生との広瀬川歩き)
- 開 催 日：令和3年11月13日(土) ■ 主 催：建設局河川課・東北工業大学
- 場 所：片平市民センター～花壇～大橋
- 参加者：東北工業大学 小祝教授、他学生5名
青空編集室 西大立目氏、都市デザインワークス 豊嶋氏、河川課職員

<写真> 広瀬川歩きの様子



- 内容：東北工業大学ライフデザイン学部の授業の取り組みに協力する形で、学生に広瀬川について学ぶ機会を提供することを目的に、当年度は片平市民センター～花壇～大橋に至るエリアの川歩きを実施する。併せて、参加した学生さんに「#広瀬川」を付けてインスタグラムに写真を投稿してもらい、河川課で運営している広瀬川インスタグラム上で、広瀬川の魅力を利用者と共有し交流を図り、広瀬川に対する親近感を醸成する。

<写真> 広瀬川インスタグラムの投稿記事



広瀬川創生プラン 令和3年度取組事業一覧

資料2

令和3年度取組事業に新規で追加



No.	活動団体名	取組事業名	事業紹介	R3実施状況
1	広瀬川創生プラン策定推進協議会	広瀬川創生プランにおける重点事業の実施と進行管理	重点事業の設定段階から、各主体が協働し、役割分担に応じプランの重点事業を執行・進行管理する。	継続
2		市民協働・広瀬川市民協働基金(市民ファンド)の仕組みの検討	市民協働の推進基盤となる広瀬川市民会議の組織体制および広瀬川市民協働基金(ファンド)の在り方等を検討する。	継続
3	広瀬川市民会議	広瀬川で遊ぶ	広瀬川への関心を高めるために、5月のGW期間中に若林区宮沢緑地でイベントを実施する。	継続 (当年度は実施無し)
4		作並かつば祭り	広瀬川上流域で、子供たちが川に親しむためのイベントを開催する。	継続 (当年度は実施無し)
5		「広瀬川の日・広瀬川週間」の設定	「広瀬川の清流を守る条例」公布日にちなんで、9月の最終土曜日を「広瀬川の日」と定め、清掃活動をはじめとした様々な事業展開により啓発する。	継続
6		親水空間の利活用の検討推進	広瀬川における親水空間の利活用を推進するための検討を行う。	継続
7		広瀬川市民会議の拡充	事務局体制の確立を図るとともに、活動を通じて他の団体との連携拡大を図りながら、多くの市民が参加できるような組織を拡充する。	継続
8		広瀬川市民協働基金(市民ファンド)の設立・運営	基金のあり方を検討し、市民・企業等に協賛の呼び掛けを行い、基金設置後はその運営を担う。	継続
9		川内・亀岡の歴史散策	仙台城の石垣に使われた石は国見周辺から切り出され、広瀬川を越えて川内に運ばれた。城下絵図に描かれた道の様子などからその経路を想像し、川とまちの関係の変化を見ていきたい。	新規
10	広瀬川1万人プロジェクト実行委員会	広瀬川1万人プロジェクト	仙台市人口1%の1万人をキーワードとして、流域一斉清掃などの啓発活動を実施する。	継続
11	(公財)みやぎ・環境とくらし・ネットワーク	「身近な水環境の全国一斉調査」への参加(広瀬川の水质調査)	毎年6月に全国水環境マップ実行委員会が実施する「身近な水環境の全国一斉調査」に参加し、広瀬川の上流から下流までの数地点の水质調査を行う。	継続
12		「水の神さま」プロジェクト	地域に祀られている龍神碑・水神碑・不動尊など水にまつわる神さまを題材に、地元住民へのヒアリングを通して、地域住民の水に対する思いや水辺の変化などを調査・発信する。震災後は沿岸地域を中心に調査・発信を実施。	継続
13	(公財)日本野鳥の会 宮城県支部	定例探鳥会の実施	大橋からの野鳥観察を含む青葉山定例探鳥会を、主に毎月第1日曜日に開催しており、その他にも千代大橋付近の野鳥を観察する広瀬川下流探鳥会を6月と3月に開催している。	継続
14	(特非)都市デザインワークス	水辺で乾杯	水辺での全国的な取組み「ミズベリング」のイベントであり、7月7日午後7時7分に世界の水辺で乾杯するもの。広瀬橋や大橋周辺などで開催を予定している。	継続 (当年度は実施無し)
15		せんたいセントラルパーク構想	社の都仙台のシンボルである青葉山や広瀬川が地下鉄東西線と交差する広瀬川流域一帯において、資源発掘や「5つの楽しみ方」付むビュック・巡るまち歩き・集うマーケット・知るミュージアム・食のカフェレストラン」を提案し、市民の参加・共感の輪を広げる構想。	継続
16		伊達な川床	全国都市緑化フェアにおいて、官民協働により、河川空間の自然を楽しむような伊達(人目をひくオシャレ)な仮設の川床を設置し、広瀬川大橋周辺を市民も観光客も訪れることかてきる名所とする。	継続 (当年度は実施無し)
17		大橋リバーフロントプロジェクト	大橋を中心とした広瀬川河川空間及び、広瀬川に面する青葉山公園(仮称)公園センター、西公園、住宅や店舗、またその庭先等のまち空間を、一体的なせんたいセントラルパーク重点エリアと位置づけ、全国都市緑化フェアにおいて、都市生活や活動賑わいの小さな拠点(ハークハウス)を設置し、沈下橋や潜り堰または飛び石による歩行者ネットワークを創出する等して、広瀬川大橋周辺を市民も観光客も訪れることかてきる名所とする。	継続
18		広瀬川自転車ライド	環境に優しく心身の健康に繋がる「自転車」を活用し、広瀬川の河川敷をルートに含むグループライドを実施し、新しい生活様式に合ったレクリエーションのあり方を提示する。	新規 (当年度はコロナのため実施無し)
19		広瀬川市民会議との協働	1999年5月、市の「広瀬川の清流を守る条例」の趣旨である市民協働の理念を基に法人設立。本会活動は、市博物館に展示されている1600年大橋に寝宝珠に刻まれた「仙人橋下、河水千年、民安国泰、執与堯天」略(川の流れる様に国も民も末永く平和に繁栄し、中国の古代帝都に比較する程に)を活かし、市の象徴である広瀬川の清流保全とその魅力を発信する市民協働活動を展開します。2000年、伊達政宗公の仙台開府400年記念企画として、市と「広瀬川市民会議」を関係団体と立ち上げ、市民協働による「広瀬川創生プラン」作成に関与。(以下主な活動)	継続 (「漁協共催 五感で感じるアユ、サケ掴みイベント」については、当年度は実施無し)
20	河川清掃	1. 広瀬川と支流川の自然、歴史、文化を学び、広瀬川の利活用、魅力発見に関する協働活動 2. 1、2月を除く清掃活動(毎月第2土曜日/広瀬橋上下600m両岸)年間300~500名 3. 広瀬橋上下の清掃とコミュニティー形成、観察(アユ、サクラマス、サケ遊上、オオハクチョウ等) 4. 五感で感じる川イベント(広瀬川八本松じゃぶじゃぶ池/夏のアユ、秋のサケ掴み、食べる) 5. コロナ代替イベント その1(7月 笹流し・アユ祭り)協力(会場/大橋下流左岸、主催/名誉会長・伊達泰宗氏) その2(7月 笹流し)主催(会場/宮沢橋下流) 6. 市民会議並びに他団体との協働		
21	漁協共催 五感で感じるアユ、サケ掴みイベント	その1 広瀬川八本松(親水護岸整備)と協働活動(本会と障がい者団体/国交省管理、県、市) その2 広瀬川灯ろう流し:花火・コンサート(長町・河原町商店街主催)参加2万人		
22	広瀬川何でも相談室	7. 広瀬川フォーラム開催(随時テーマ/治水・利水・環境のバランスある川づくり) 8. 広瀬川を「五感で感じる」魅力発見に供する市民協働の推進 9. 広瀬川の適正な管理を目的とする管理権限移譲(宮城県から仙台市へ)に関する提言活動		
23	川づくり提言・市民協働フォーラム開催			
24	(特非)広瀬川ボートくらぶ	広瀬川でボート遊び(貸しボートの運営)	宮沢緑地で貸ボートを行うもので、「広瀬川で遊ぶ」などのイベントとも連携し市民の広瀬川への関心を高める。	
25	広瀬川灯ろう流し実行委員会	広瀬川灯ろう流し・光と水とコンサートのタペ	夏の風物詩としての祖先や死者を供養する灯ろう流しや、花火大会・コンサートなどを実施する。	継続 (当年度は実施無し)
26	森民酒造・及川酒店	純米吟醸酒「清流広瀬川」	広瀬川の伏流水と県産米く蔵の華で仕込んだ純米吟醸酒を製造・販売する。	継続

No.	活動団体名	取組事業名	事業紹介	R3実施状況
27	仙台市カヌー協会	カヌーで河川清掃「クリーンアップ広瀬川」	カヌーで河川清掃「クリーンアップ広瀬川」& 体験会は、毎年8月お盆翌週の日曜日開催しています。お世話になっている広瀬川の岸辺に漂着したゴミを川の中から清掃します。午後は、新しい仲間を迎える「カヌー体験会」を同じ会場で開催しています。お一人さまはもちろん、ご家族、お友達でチャレンジください。	継続
28		カヌーリバーレスキュー・ワークショップ	リバーレール必須のレスキュー方法をワークショップ形式で開催しています。カヌーに関わらず多くの川遊びの皆さんを対象に募集しています。水の事故から自身を守るため、ライフジャケット着用での流下方法、ローレスキュー方法をこの機会に体得ください。	継続
29		広瀬川カヌーツーリング・そのためのレッスン	5月～11月 広瀬川でカヌーツーリングを楽しむための4回シリーズのカヌーレッスン。卒業後は落合から折立まで3.5kmの川旅にチャレンジです。	継続
30		市民総体カヌーフアンスラローム大会	カヌーのツーリング・レスキュー技術をゲーム形式にしたものです。年齢、性別、国籍一切不問で楽しんでいるカヌー仲間ですが、この試合では良きライバルに。試合後は、鍋を囲みつつ互いの技術を賞賛する場になっています。	継続
31		カヌー体験会	シーズン4～5回、河川清掃後などのイベントに合わせて「カヌー体験会」を開催しています。短い時間ですが、カヌーを通じて川に親しんでいます。体験会のまともはプチツーリング。ふわふわする水面。川から見上げる景色をお楽しみください。	新規
32	広瀬川リバーサイドヒーリング協議会	広瀬川を観光のフィールドに！本・食・障害者アートに没入する「知の空間体験」	観光庁実施の「地域の観光資源の磨き上げを通じた域内連携促進に向けた実証事業」に応募し、広瀬川をフィールドに水辺空間を非日常的な体験に変えるコンテンツの造成を図る。	新規 (当年度は事業に応募したが不採択)
33	関山街道フォーラム協議会	関山街道の四季フォトコンテスト	令和元年度～2ヶ年、桜プロジェクトの一環として取り組んだ、「さくらフォトコンテスト」を発展的に継続した『関山街道の四季フォトコンテスト2020』を開催いたしました。新型コロナウイルス感染拡大等で落ち込んでいる地域の活性化、観光交流の増加につながることを期待し、応募いただいた写真は、国内外に情報を発信できればと考えています。	新規
34		関山街道作並地区を巡る探訪会 ～「関山街道開墾殉難之地」の碑での慰霊の集いと隠れ滝探訪～	仙台市青葉区作並にある、関山街道の歴史を今に伝える「坂下境目御番所跡」の「関山街道開墾殉難之地」の碑(広瀬川源流端の標柱も有り)で慰霊の集いと作並と定義とを結ぶ熊沢林道沿いにある「熊沢大滝(別名:作並大滝)」と「隠れ滝」の探訪を行います。5月に完成した「作並二ツ岩散策路」も訪ねました。	新規
35	白沢カルデラプロジェクト実行委員会	白沢カルデラ外輪山を歩こう会(白沢カルデラ実働部隊)	白沢カルデラ・広瀬川の地質、地形等の自然資産を活かして、地域における大地の成り立ちや歴史を学び、将来的には広瀬川ジオパークとしての登録を目指します。	新規
36	西公園プレーパークの会	ヒロセガワプレーパーク	広瀬川の河畔に広がる自然を活かし、参加者が主体性を大切に遊ぶことのできる遊び場を実施する。自然の中で遊ぶことで、広瀬川を身近を感じ、広瀬川への愛着を感じてもらえる場とする。河川敷は乳幼児親子や小学生が個人的に遊ぶにはハードルが高い場所であるため、安全管理も配慮しつつ、遊びを支えるためのスタッフを配置する。	新規
37	カワライ	ミスベフエスタ	広瀬川に賑わいを出すために、親子をメイン対象にしたイベントを開催。川のプロダム・水辺のスポーツプログラムに続き、アウトドアプログラム(火おこし・テント張り・ロープワークなど)を実施予定。水辺に賑わいと教育機会の創出を行っています。	新規
38	仙台河川国道事務所	河川水辺の国勢調査	河川を「環境」の観点からとらえた生物調査・河川調査・河川空間利用実態調査を定期的に行う。	継続
39		仙台地域水循環協議会	社会情勢や水循環の変化など、必要に応じて協議会を開催し水循環のあり方や取組みについて検討する。	継続 (当年度は開催無し)
40		広瀬川及び旧筑川環境用水導入事業	広瀬川の水環境を守ることを目的に、夏場の水量の問題を改善するために、既存の水路を活用して名取川からの環境用水導水施設の整備をH16年3月に完了した。流量低下時に名取川から河川水を導水する。	継続
41		緊急用河川敷道路整備事業	大地震等の大災害時において、被災者の救援活動、被災地の復旧活動及び物資の輸送等に活用できる緊急用河川敷道路を整備する。	継続
42		河川利用の適正化検討	河川協力団体と連携し、市民目線で見た適正な河川利用のためのルール作りを検討し、河川利用者へ啓発活動を実施する。	継続
43	仙台土木事務所	みやぎスマイルリバープログラム(アドプト制度)	宮城県管理河川の一定区間において、清掃や除草などの良好な河川環境づくりに取り組むボランティア団体を「スマイルサポーター」として認定し、地域と連携して環境美化を行う。	継続
44		中洲・寄州の樹木管理	中洲・寄州の樹木や土砂について、H17年に策定した広瀬川管理計画に基づき適正管理を行う。	継続
45		広瀬川環境管理協議会	広瀬川管理計画に基づく管理を行い、周辺状況の変化など必要に応じて協議会を開催する。	継続 (当年度は開催無し)
46	仙台河川国道事務所、仙台土木事務所	護岸の改修・修景	コンクリート護岸の老朽化に伴う改修と同時に、修景を必要な箇所順次対応する。	継続 (当年度は実施無し)
47		当事者との調整	河川敷の占用をしている人や団体との調整を行い、不法占用を解消する。(広瀬橋から下流は国が、広瀬橋から上流は県がそれぞれ実施。)	継続
48	国立研究開発法人土木研究所 宮城教育大学 仙台市河川課	竜の口渓谷多自然川づくり事業	令和元年度、広瀬川から竜の口渓谷へ魚類(ヤマメ等の遊泳魚、など)の遡上が可能となるよう、落差工に低コストな切欠き魚道を設置した。設置後は、魚道の設置効果を検証するため、モニタリング調査(施設安定性調査、魚類相調査)を実施してきた。また、本取り組みと並行して、市民向けワークショップ、工事見学会、意見交換会、勉強会等を開催し、魚道設置を契機として河川環境に対する市民の理解・関心を深めることができている。	継続

No.	活動団体名	取組事業名	事業紹介	R3実施状況
49	環境局環境共生課	生物多様性保全推進事業	カッコウやカジカゲルなど仙台上にゆかりのある生きものに着目し、多様な主体と連携しながら、自然や生きものと直接ふれあい、その魅力や大切さについて学ぶ機会を図ります。	継続
50		四ツ谷用水再発見事業	広瀬川の四ツ谷から取水している四ツ谷用水の歴史的な意義について広く周知するため、四ツ谷用水跡をたどる歩く会、四ツ谷用水フォーラムなどの啓発イベントを実施する。	継続
51		自然環境に関する基礎調査	保全上重要な動植物、学術上あるいは景観保全上重要な地形・地質、自然現象等について整理し、様々な環境施策の検討や各種公共事業・開発事業の持続可能な方向への誘導に資する。	継続 (当年度は実施無し。R2実施、調査は5年毎。)
52	環境局環境対策課	水質調査	河川の水質及び、広瀬川の清流を守る条例の水質保全区域における工場・事業場の排水を調査する。	継続
53		底質調査	公共用水域における底質(泥)の実態を把握するための調査を実施する。	継続
54	経済局農政企画課	広瀬・名取川水系さけます増殖協会への参加	採卵・放流事業やふ化場管理・整備の助成等を行う協会へ参加し、さけ・ます資源の積極的増殖を図る。	継続
55		淡水魚放流事業補助	広瀬川にあゆ、いわな等の稚魚の放流事業を行っている「広瀬川取川漁業協同組合」への補助を行う。	継続
56	経済局農林土木課	愛宕堰改修事業	老朽化の著しい固定堰を利水・治水・環境に配慮した新堰に改修する。	継続
57	建設局下水道計画課	仙台市公共下水道事業(宮城処理区)	平成21年に公共下水道整備は概成したが、引き続き広瀬川の水質保全、公衆衛生の向上を図るため、汚水処理施設の整備事業を継続する。	継続
58		合流式下水道雨天時越流水対策事業	合流式下水道について、雨天時の越流に対応するための改善事業を実施する。	継続
59	建設局下水道調整課	仙台市浄化槽事業	広瀬川上流域の下水道区域外の地域で、公設公管理型の浄化槽事業を推進する。	継続
60	建設局公園課	青葉山公園整備事業	藩政時代からの歴史的・文化的資源や自然景観を生かしながら、市民や仙台を訪れた人が親しむことのできる杜の都のシンボルとなる公園として整備する。	継続
61		西公園再整備事業	樹林や広瀬川の自然を生かしつつ、多様な市民活動が展開される「やすらぎとにぎわいの空間づくり」をテーマに、市街地の「みどりの回廊」の拠点にふさわしい公園として再整備する。	継続
62		河川公園整備・維持管理	河川公園の整備・維持管理を行います。	継続
63	教育局科学館	広瀬川の魚・環境の展示	仙台市科学館の常設展示コーナーで、広瀬川の魚全種の亚克力封入標本と、水槽による実物展示や、広瀬川の源流から河口までの流域模型と水が流れる体感展示を行う。	継続
64		総合学習・自然観察会等の学習支援	広瀬川をテーマとする総合学習・自然観察会等の実施への支援・協力を行う。	継続
65		広瀬川自然展示コーナー	片平市民センター内の仙台市科学館広瀬川自然展示コーナーにおいて、四谷用水やそれを支える仙台の地質・地形などに関して、プロジェクションマッピングを活用した展示を実施している。	継続
66	建設局河川課	緑化助成・緑化木交付	広瀬川の清流を守る条例の環境保全区域内行為許可した土地に緑化を実施する場合に助成を行う。	継続
67		仙台市広瀬川清流保全審議会の運営	広瀬川の清流を守る条例に基づき、広瀬川の清流を守るための重要事項を調査・審議する目的で、本審議会を開催する。	継続
68		六・七郷堰非かんがい期通水事業	六・七郷堰の悪臭の抑制、景観の改善のため、H17年1月から開始した非かんがい期通水事業を継続する。	継続
69	建設局河川課	広瀬川ホームページ	広瀬川に関する自然・歴史・文化・市民活動・インタビュー・研究レポートなど、多様な情報発信と意見交換の場を提供する。また「広瀬川魅力創生サポーター」の制度や認定団体を紹介する。	継続
70		観光資源としての広瀬川の魅力発信	携帯用散策マップ「広瀬川へ行こう」や「広瀬川ホームページ」などを活用・更新し、観光資源としての魅力を発信する。	継続
71		市民協働事業の推進	広瀬川に関わる市民参加型事業の企画推進を図り、他機関と協働して創生プラン推進に努める。(広瀬川創生室による創生プランの推進。)	継続
72		広瀬川市民活動マップの作成	広瀬川をフィールドとしたNPO等の活動マップを広瀬川ホームページ上で公開し、広く周知・活用を図る。	継続
73		広瀬川フォーラム等の開催	広瀬川をフィールドとした分野ごとの活動内容の発表や、テーマ・流域毎に広瀬川に関する課題等を共有し、広く情報発信を行っていく。	継続 (当年度は開催無し)
74		市民センターとの連携	各市民センターで行われる広瀬川に関わる事業を、「広瀬川ホームページ」に掲載したり、講師の紹介・派遣を行うなど市民センターとの連携を推進する。	継続
75		広瀬川自然体験学習	小学生とその保護者を対象にしてプロのインストラクター指導のもと、川での安全な歩き方などを学びながら自然豊かな広瀬川を体験してもらう。	継続 (当年度は実施無し)
76		広瀬川インスタグラム	幅広い年齢層に利用されている身近な交流SNSという特徴を活かして、広瀬川の魅力を利用者と共に、広瀬川に対する親近感を醸成する。	新規
77	建設局河川課 東北工業大学	東北工業大学ライフデザイン学部生連携事業	東北工業大学ライフデザイン学部の授業の取り組みに協力する形で、学生に広瀬川について学ぶ機会を提供する。	新規
78	建設局河川課 片平市民センター	広瀬川界隈ぶらり散歩	片平地域は仙台市の中心部にあり、藩政時代から残る由緒ある史跡や自然が共存している風光明媚な場所です。市民センターで養成した広瀬川ボランティアガイド「広瀬川をゆっくり歩く会」の案内で、広瀬川を中心に地域をめぐる、魅力を伝えていきます。	継続
79		広瀬川ガイドの養成	広瀬川の魅力を語りながら各スポットを案内する、地域の「広瀬川ガイド」を養成する。	継続

No.	活動団体名	取組事業名	事業紹介	R3実施状況
80	各団体	広瀬川の生き物観察会	親子対象の生き物観察会を実施する。	継続
81		ふ化及び稚魚放流事業	小学校や市民センター等と連携し、孵化および飼育のサポートや稚魚放流会への協力を行う。	継続
82		広瀬川流域のまち歩き	広瀬川の流域を歩いて、魅力の再発見をしてもらう。	継続
83		地域団体・NPO等による清掃活動	地域団体やNPO等による清掃活動を実施する。	継続

令和4年度重点事業の設定及び 取組事業の更新について

建設局百年の杜推進部河川課

第43回広瀬川創生プラン策定推進協議会

令和4年度重点事業の設定について

■重点事業1 「広瀬川1万人プロジェクト」の実施

事業概要	広瀬川流域における一斉清掃（春：4月23日、秋：10月1日）
成果目標	参加者数 約1,800人程度（春：700人程度、秋：1,100人程度と見込む）
実施主体	広瀬川1万人プロジェクト実行委員会

■重点事業2 アイラブ広瀬川プロジェクトの実施

事業概要	広瀬川の魅力を再認識できる取組み （例：広瀬川ワークショップ、自然・歴史・文化に関する講座など）
成果目標	広瀬川の魅力を再認識してもらう （本市が実施主体となる取組みでは、参加した方の80%以上に満足していただくことを目標とする）
実施主体	仙台市、その他活動団体

【参考】第19回広瀬川創生プラン策定推進協議会より

- ・重点事業のうち自己資金による運営が困難な事業に負担金を支出する。

令和3年度からの変更点

	活動団体名	取組事業名	変更点
①	環境局環境対策課	水質・底質調査	水質調査と底質調査の2つに分けて記載していた取組事業を、水質・底質調査として1つの取組事業とした
②	#広瀬川 インスタクラブ 建設局河川課	仙台市公式 #広瀬川 Instagram に掲載する情報収集と更新のサポート	建設局河川課で実施していた取組事業を#広瀬川 インスタクラブが中心となって実施する形に変更した

令和4年度取組事業の更新について

令和3年度からの変更点

■ **取組事業名** : 仙台市公式 #広瀬川 Instagram に掲載する
情報収集と更新

■ **活動団体** : #広瀬川 インスタクラブ、建設局河川課

■ **内 容** :

① 広瀬川に関する行政の取り組み（治水・利水・親水）を
Instagramをとおして発信し、市民の広瀬川への関心
がより一層高まるよう醸成を図る。

② 広瀬川創生プランに関わる各協力団体の活動をインスタ
グラムを通じて情報発信し、広瀬川をめぐる様々な
市民活動への市民の関心を喚起する。

（川歩き等の市民イベント同行による情報発信）

③ 定期的にアクセス解析を実施し、情報発信の改善につなげる。



hiroseriversendai ▾ ⊕ ☰



57 109 0
投稿 フォロワー フォロー中

仙台市公式 #広瀬川
仙台市広瀬川の公式アカウントです。#広瀬川に関する
素敵なお知らせを発信中。
あなたのとおきおきの写真にも #広瀬川 をつけてくださ
いね。 Tag #hirosegawa to share your... 続きを読む
www.hirosegawa-net.com

プロフィールを編集

広告ツール

インサイト

ショップを追加



広瀬川創生プラン 令和4年度取組事業一覧

資料4

令和3年度からの変更点



No.	活動団体名	取組事業名	事業紹介
1	広瀬川創生プラン策定推進協議会	広瀬川創生プランにおける重点事業の実施と進行管理	重点事業の設定段階から、各主体が協働し、役割分担に応じプランの重点事業を実行・進行管理する。
2		市民協働・広瀬川市民協働基金(市民ファンド)の仕組みの検討	市民協働の推進基盤となる広瀬川市民会議の組織体制および広瀬川市民協働基金(ファンド)の在り方等を検討する。
3	広瀬川市民会議	広瀬川で遊ぼう	広瀬川への関心を高めるために、5月のGW期間中に若林区宮沢緑地でイベントを実施する。
4		作並かつば祭り	広瀬川上流域で、子供たちが川に親しむためのイベントを開催する。
5		「広瀬川の日・広瀬川週間」の設定	「広瀬川の清流を守る条例」公布日にちなんで、9月の最終土曜日を「広瀬川の日」と定め、清掃活動をはじめとした様々な事業展開により啓発する。
6		親水空間の利活用の検討推進	広瀬川における親水空間の利活用を推進するための検討を行う。
7		広瀬川市民会議の拡充	事務局体制の確立を図るとともに、活動を通じて他の団体との連携拡大を図りながら、多くの市民が参加できるよう組織を拡充する。
8	広瀬川市民会議	広瀬川市民協働基金(市民ファンド)の設立・運営	基金のあり方を検討し、市民・企業等に協賛の呼び掛けを行い、基金設置後はその運営を担う。
9		川内・亀岡の歴史散策	仙台城の石垣に使われた石は国見周辺から切り出され、広瀬川を越えて川内に運ばれた。城下絵図に描かれた道の様子などからその経路を想像し、川とまちの関係の変化を見ていきたい。
10		広瀬川1万人プロジェクト	仙台市人口1%の1万人をキーワードとして、流域一斉清掃などの啓発活動を実施する。
11	(公財)みやぎ・環境とくらしネットワーク	「身近な水環境の全国一斉調査」への参加(広瀬川の水質調査)	毎年6月に全国水環境マップ実行委員会が実施する「身近な水環境の全国一斉調査」に参加し、広瀬川の上流から下流までの数地点の水質調査を行う。
12		「水の神さま」プロジェクト	地域に祀られている龍神碑・水神碑・不動尊など水まつわる神さまを題材に、地元住民へのヒアリングを通して、地域住民の水に対する思いや水辺の変化などを踏査・発信する。震災後は沿岸地域を中心に調査・発信を実施。
13	(公財)日本野鳥の会宮城県支部	定例探鳥会の実施	大橋からの野鳥観察を含む青葉山定例探鳥会を、主に毎月第1日曜日に開催しており、他にも千代大橋付近の野鳥を観察する広瀬川下流探鳥会を6月と3月に開催している。
14	(特非)都市デザインワークス	水辺で乾杯	水辺での全国的な取組み「ミズベリング」のイベントであり、7月7日午後7時7分に世界の水辺で乾杯するもの。広瀬橋や大橋周辺などで開催を予定している。
15		せんたいセントラルパーク構想	杜の都仙台のシンボルである青葉山や広瀬川が地下鉄東西線と交差する広瀬川流域一帯において、資源発掘や“5つの楽しみ方” 佇むビクニック・巡るまち歩き・集うマーケット・知るミュージアム・食のカフェレストラン”を提案し、市民の参加・共感の輪を広げる構想。
16		伊達な川床	全国都市緑化フェアにおいて、官民協働により、河川空間の自然を楽しめるような伊達(人目をひくオシャレ)な仮設の川床を設置し、広瀬川大橋周辺を市民も観光客も訪れることのできる名所とする。
17		大橋リバーフロントプロジェクト	大橋を中心とした広瀬川河川空間及び、広瀬川に面する青葉山公園(仮称)公園センター、西公園、住宅や店舗、またその庭先等のまち空間を、一体的なせんたいセントラルパーク重点エリアと位置づけ、全国都市緑化フェアにおいて、都市生活や活動賑わいの小さな拠点(ハークハウス)を設置し、沈下橋や潜り堰または飛び石による歩行者ネットワークを創出する等して、広瀬川大橋周辺を市民も観光客も訪れることのできる名所とする。
18	(特非)広瀬川の清流を守る会	広瀬川自転車ライド	環境に優しく心身の健康に繋がる「自転車」を活用し、広瀬川の河川敷をルートに含むグループライドを実施し、新しい生活様式に合ったレクリエーションのあり方を提示する。
19		広瀬川市民会議との協働	1999年5月、市の「広瀬川の清流を守る条例」の趣旨である市民協働の理念を基に法人設立。本会活動は、市博物館に展示されている1600年大橋に擬宝珠に刻まれた「仙人橋下、河水千年、民安国泰、執与堯天」路(川の流れる様に国も民も永く平和に繁栄し、中国の古代帝都に比較する程)を活かし、市の象徴である広瀬川の清流保全とその魅力を発信する市民協働活動を展開します。2000年、伊達政宗公の仙台開府400年記念企画として、市と「広瀬川市民会議」を関係団体と立ち上げ、市民協働による「広瀬川創生プラン」作成に関与。(以下主な活動)
20		河川清掃	1. 広瀬川と支流川の自然、歴史、文化を学び、広瀬川の利活用、魅力発見に関する協働活動 2. 1、2月を除く清掃活動(毎月第2土曜日/広瀬橋上下600m両岸)年間300~500名 3. 広瀬橋上下の清掃とコミュニティ形成、観察(アユ、サクラマス、サケ遊上、オオハクチヨウ等) 4. 五感で感じる川イベント(広瀬川八本松じゃぶじゃぶ池/夏のアユ、秋のサケ掴み、食べる) 5. コロナ代替イベント その1(7月 笹流し・アユ祭り)協力(会場/大橋下流左岸、主催/名誉会長・伊達泰宗氏) その2(7月 笹流し)主催(会場/宮沢橋下流)
21		漁協共催 五感で感じるアユ、サケ掴みイベント	6. 市民会議並びに他団体との協働 その1 広瀬川八本松(親水護岸整備)と協働活動(本会と障がい者団体/国交省管理、県、市) その2 広瀬川灯ろう流し・火花・コンサート(長町・河原町商店街主催)参加2万人 7. 広瀬川フォーラム開催(随時テーマ/治水・利水・環境のバランスある川づくり) 8. 広瀬川を「五感で感じる」魅力発見に供する市民協働の推進 9. 広瀬川の適正な管理を目的とする管理権限移譲(宮城県から仙台市へ)に関する提言活動 10. 広瀬川大橋上下の左岸河川敷を市の公園とする協働プラン策定 11. プラン策定のため他団体との「広瀬川フォーラム」を開催
22		広瀬川何でも相談室	
23	川づくり提言・市民協働フォーラム開催		
24	(特非)広瀬川ボートクラブ	広瀬川でボート遊び(貸しボートの運営)	宮沢緑地で貸ボートを行うもので、「広瀬川で遊ぼう」などのイベントとも連携し市民の広瀬川への関心を高める。
25	広瀬川灯ろう流し実行委員会	広瀬川灯ろう流し・光と水とコンサートのタペ	夏の風物詩としての祖先や死者を供養する灯ろう流しや、火花大会・コンサートなどを実施する。
26	森民酒造・及川酒店	純米吟醸酒「清流広瀬川」	広瀬川の伏流水と県産米「蔵の華」で仕込んだ純米吟醸酒を製造・販売する。

No.	活動団体名	取組事業名	事業紹介
27		カヌーで河川清掃クリーンアップ広瀬川	カヌーで河川清掃「クリーンアップ広瀬川」& 体験会は、毎年8月お盆翌週の日曜日開催しています。お世話になっている広瀬川の岸辺に漂着したゴミを川の中から清掃します。午後は、新しい仲間を迎える「カヌー体験会」を同じ会場で開催しています。お一人さまはもちろん、ご家族、お友達でチャレンジください。8月21日実施予定。(ただし荒天・増水時は中止。)
28		カヌーリバーレスキューワークショップ	リバーピープル必須のレスキュー方法をワークショップ形式で開催しています。カヌーに関わらず多くの川遊びの皆さんを対象に募集しています。水の事故から自身を守るため、ライフジャケット着用での流下方法、ロープレスキュー方法をこの機会に体得ください。8月7日実施予定。(ただし荒天・増水時は中止。)
29	仙台市カヌー協会	広瀬川カヌーツーリング・そのためのレッスン	5月～11月 広瀬川でカヌーツーリングを楽しむための4回シリーズのカヌーレッスン。卒業後は落差から折立まで3.5kmの川旅にチャレンジです。
30		市民総体カヌーファンズラーム大会	カヌーのツーリング・レスキュー技術をゲーム形式にしたものです。年齢、性別、国籍一切不問で楽しんでいるカヌー仲間ですが、この試合では良きライバルに。試合後は、鍋を囲みつつ互いの技術を賞賛する場になっています。(7月下旬または秋に開催予定。)
31		カヌー体験会	シーズン4～5回、河川清掃後などのイベントに合わせて「カヌー体験会」を開催しています。短い時間ですが、カヌーを通じて川に親しんでいます。体験会のまどめはプチツーリング。ふわふわする水面。川から見上げる景色をお楽しみください。(7月～9月にかけて実施予定。)
32	広瀬川リバーサイドヒーリング協議会	広瀬川を観光のフィールドに！本・食・障害者アートに没入する「知の空間体験」	観光庁実施の「地域の観光資源の磨き上げを通じた域内連携促進に向けた実証事業」に応募し、広瀬川をフィールドに水辺空間を非日常的な体験に変えるコンテンツの造成を図る。
33	関山街道フォーラム協議会	関山街道の四季フォトコンテスト	令和3年度開催した『関山街道の四季フォトコンテスト』を継続し、宮城・山形両県をつなぐ関山街道(国道48号)沿線の四季折々の魅力を写した。お気に入りの写真を募集いたします。新型コロナウイルス感染拡大等で落ち込んでいる地域の活性化、観光交流の増加につながることを期待し、応募いただいた写真は、国内外に情報を発信できればと考えています。
34		関山街道作並地区を巡る探訪会～「関山街道開鑿殉難之地」の碑での慰霊の集いと隠れ滝探訪～	仙台市青葉区作並にある、関山街道の歴史を今に伝える「坂下境目御番所跡」の「関山街道開鑿殉難之地」の碑(広瀬川源流端の標柱)で慰霊の集いと作並温泉の隠れた名瀑布「日暮らし滝」の探訪を行います。R3.5月に完成した「作並ニツ岩散策路」も訪ねます。
35	白沢カルデラプロジェクト実行委員会	白沢カルデラ外輪山を歩こう会(白沢カルデラ実働部隊)	白沢カルデラ・広瀬川の地質、地形等の自然資産を活かして、地域における大地の成り立ちや歴史を学び、将来的には広瀬川ジオパークとしての登録を目指します。具体的には以下の活動を実施予定です。 ①事業予算の獲得 ②古仙台湖のカンパニ作成・展示 ③広瀬川の本流、支流の露頭調査継続 ④パネル・写真展示会 (1)2/1～2/13西市民センター実施中 (2)3/1～3/12広瀬市民センター開催決定 (3)4/4～4/16観光交流館「ラサタ」開催決定 ⑤小・中学校へのPR ⑥旧宮城地域町内会連合会へのPR等
36	西公園プレーパークの会	ヒロセガワプレーパーク	広瀬川の河畔に広がる自然を活かし、参加者が主体性を大切に遊ぶことのできる遊び場を実施する。自然の中で遊ぶことで、広瀬川を身近を感じ、広瀬川への愛着を感じてもらえる場とする。河川敷は乳幼児親子や小学生が個人的に遊ぶにはハードルが高い場所であるため、安全管理も配慮しつつ、遊びを支えるためのスタッフを配置する。
37	カワラカイ	ミズベフェスタ	ミズベフェスタの開催 広瀬川に賑わいを出すために、親子をメイン対象にしたイベントを開催 川のプログラム・水辺のスポーツプログラムに続き、アウトドアプログラム(火おこし・テント張り・ロープワークなど)を実施予定 水辺に賑わいと教育機会の創出を行っています。 2022年度は、2021年度に行ったプログラム プラスα(マルシェ・キャンプ・BBQなどにチャレンジ;主催者側に学生や主婦を増やし、地域の人を巻き込み、リーダー育成を行う)
38		河川水辺の国勢調査	河川を「環境」の観点からとらえた生物調査・河川調査・河川空間利用実態調査を定期的に行う。
39		仙台地域水循環協議会	社会情勢や水循環の変化など、必要に応じて協議会を開催し水循環のあり方や取組みについて検討する。
40	仙台河川国道事務所	広瀬川及び旧沢川環境用水導入事業	広瀬川の水環境を守ることを目的に、夏場の水量の問題を改善するために、既存の水路を活用して名取川からの環境用水導水施設の整備をH16年3月に完了した。流量低下時に名取川から河川水を導水する。
41		緊急用河川敷道路整備事業	大地震等の大災害時において、被災者の救援活動、被災地の復旧活動及び物資の輸送等に活用できる緊急用河川敷道路を整備する。
42		河川利用の適正化検討	河川協力団体と連携し、市民目線に見た適正な河川利用のためのルール作りを検討し、河川利用者へ啓発活動を実施する。
43		みやぎスマイルリバープログラム(アドプト制度)	宮城県管理河川の一部区間において、清掃や除草などの良好な河川環境づくりに取り組むボランティア団体を「スマイルサポーター」として認定し、地域と連携して環境美化を行う。
44	仙台土木事務所	中洲・寄州の樹木管理	中洲・寄州の樹木や土砂について、H17年に策定した広瀬川管理計画に基づき適正管理を行う。
45		広瀬川環境管理協議会	広瀬川管理計画に基づく管理を行い、周辺状況の変化など必要に応じて協議会を開催する。
46	仙台河川国道事務所	護岸の改修・修景	コンクリート護岸の老朽化に伴う改修と同時に、修景を必要な箇所順次対応する。
47	仙台土木事務所	当事者との調整	河川敷の占用をしている人や団体との調整を行い、不法占用を解消する。(広瀬橋から下流は国が、広瀬橋から上流は県がそれぞれ実施。)
48	国立研究開発法人土木研究所 宮城教育大学 仙台市河川課	竜の口渓谷多自然川づくり事業	令和元年度、広瀬川から竜の口渓谷へ魚類(ヤマメ等の遊泳魚、など)の遡上が可能となるよう、落差工に低コストな切欠き魚道を設置した。設置後は、魚道の設置効果を検証するため、モニタリング調査(施設安定性調査、魚類相調査)を実施してきた。また、本取り組みと並行して、市民向けワークショップ、工事見学会、意見交換会、勉強会等を開催し、魚道設置を契機として河川環境に対する市民の理解・関心を深めることができています。
49	環境局環境共生課	生物多様性保全推進事業	カッコウやカジカガエルなど仙台にゆかりのある生きものに着目し、多様な主体と連携しながら、自然や生きものと直接ふれあい、その魅力や大切さについて学ぶ機会を充実を図ります。
50		四ツ谷用水再発見事業	広瀬川の四ツ谷堰から取水している四ツ谷用水の歴史的な意義について広く周知するため、四ツ谷用水跡をたどる歩く会、四ツ谷用水フォーラムなどの啓発イベントを実施する。
51		自然環境に関する基礎調査	保全上重要な動植物、学術上あるいは景観保全上重要な地形・地質、自然現象等について整理し、様々な環境施策の検討や各種公共事業、開発事業の持続可能な方向への誘導に資する。(R2年度に実施し、5年毎の調査のためR4年度は実施しない。)
52	環境局環境対策課	水質・底質調査	河川の水質・底質(泥)及び、広瀬川の清流を守る条例の水質保全区域における工場・事業場の排水を調査する。

No.	活動団体名	取組事業名	事業紹介
53	経済局農政企画課	広瀬・名取川水系さけます増殖協会への参加	採卵・放流事業やふ化場管理・整備の助成等を行う協会へ参加し、さけます資源の積極的増殖を図る。
54		淡水魚放流事業補助	広瀬川にあゆ、いわな等の稚魚の放流事業を行っている「広瀬名取川漁業協同組合」へ補助を行う。
55	経済局農林土木課	愛宕堰改修事業	老朽化の著しい固定堰を利水・治水・環境に配慮した新堰に改修する。 ※当該事業については、事業規模や補助要件等から県事業となる可能性があり、現在県と協議中であるが、現場付近では本市の都市計画道路南小泉茂庭線の宮沢橋架け替え工事が行われているため、当該事業の着手は早くても旧橋の撤去(令和10年度を予定)以降となる見込みである。
56	建設局下水道計画課	仙台市公共下水道事業(宮城処理区)	平成21年に公共下水道整備は概成したが、引き続き広瀬川の水質保全、公衆衛生の向上を図るため、汚水処理施設の整備事業を継続する。
57		合流式下水道雨天時越流水対策事業	合流式下水道について、雨天時の越流に対応するための改善事業を実施する。
58	建設局下水道調整課	仙台市浄化槽事業	広瀬川上流域の下水道区域外の地域で、公設公管理型の浄化槽事業を推進する。
59	建設局公園課	青葉山公園整備事業	藩政時代からの歴史的・文化的資源や自然景観を生かしながら、市民や仙台を訪れた人が親しむことのできる杜の都のシンボルとなる公園として整備する。
60		西公園再整備事業	樹林や広瀬川の自然を生かしつつ、多様な市民活動が展開される「やすらぎとにぎわいの空間づくり」をテーマに、市街地の「みどりの回廊」の拠点にふさわしい公園として再整備する。
61		河川公園整備・維持管理	河川公園の整備・維持管理を行います。
62	教育局科学館	広瀬川の魚・環境の展示	仙台市科学館の常設展示コーナーで、広瀬川の魚全種のアクリル封入標本と、水槽による実物展示や、広瀬川の源流から河口までの流域模型と水が流れる体感展示を行う。
63		総合学習・自然観察会等の学習支援	広瀬川をテーマとする総合学習・自然観察会等の実施への支援・協力を行う。
64		広瀬川自然展示コーナー	片平市民センター内の仙台市科学館広瀬川自然展示コーナーにおいて、四谷用水やそれを支える仙台の地質・地形などに関して、プロジェクトマップを活用した展示を実施している。
65	建設局河川課	緑化助成・緑化木交付	広瀬川の清流を守る条例の環境保全区域内行為許可した土地に緑化を実施する場合に助成を行う。
66		仙台市広瀬川清流保全審議会の運営	広瀬川の清流を守る条例に基づき、広瀬川の清流を守るための重要事項を調査・審議する目的で、本審議会を開催する。
67		六・七郷堀非かんがい期通水事業	六・七郷堀の悪臭の抑制、景観の改善のため、H17年1月から開始した非かんがい期通水事業を継続する。
68		広瀬川ホームページ	広瀬川に関する自然・歴史・文化・市民活動・インタビュー・研究レポートなど、多様な情報発信と意見交換の場を提供する。また「広瀬川魅力創生サポーター」の制度や認定団体を紹介する。
69		観光資源としての広瀬川の魅力発信	携帯用散策マップ「広瀬川へ行くよ」や「広瀬川ホームページ」などを活用・更新し、観光資源としての魅力を発信する。
70		市民協働事業の推進	広瀬川に関わる市民参加型事業の企画推進を図り、他機関と協働して創生プラン推進に努める。(広瀬川創生室による創生プランの推進。)
71		広瀬川市民活動マップの作成	広瀬川をフィールドとしたNPO等の活動マップを広瀬川ホームページ上で公開し、広く周知・活用を図る。
72		広瀬川フォーラム等の開催	広瀬川をフィールドとした分野ごとの活動内容の発表や、テーマ・流域毎に広瀬川に関する課題等を共有し、広く情報発信を行っていく。
73		市民センターとの連携	各市民センターで行われる広瀬川に関わる事業を、「広瀬川ホームページ」に掲載したり、講師の紹介・派遣を行うなど市民センターとの連携を推進する。
74		広瀬川自然体験学習	小学生とその保護者を対象にしてプロのインストラクター指導のもと、川の生き物探しや、川での安全な歩き方などを学びながら自然豊かな広瀬川を体験してもらう。
75	#広瀬川 インスタクラブ 建設局河川課	仙台市公式 #広瀬川 Instagram に掲載する情報収集と更新	① 広瀬川に関する行政の取り組み(治水・利水・親水)をInstagramをととして発信し、市民の広瀬川への関心がより一層高まるよう醸成を図る。 ② 広瀬川創生プランに関わる各協力団体の活動をInstagramを通じて情報発信し、広瀬川をめぐるさまざまな市民活動への市民の関心を喚起する。(川歩き等の市民イベント同行による情報発信)。 ③ 定期的にアクセス解析を実施し、情報発信の改善につなげる。
76	建設局河川課 東北工業大学	東北工業大学ライフデザイン学部生連携事業	東北工業大学ライフデザイン学部の授業の取り組みに協力する形で、学生に広瀬川について学ぶ機会を提供する。
77	建設局河川課 片平市民センター	広瀬川界限ぶらり散歩	片平地域は仙台市の中心部にあり、藩政時代から残る由緒ある史跡や自然が共存している風光明媚な場所です。市民センターで養成した広瀬川ボランティアガイド「広瀬川をゆっくり歩こう会」の案内で、広瀬川を中心に地域をめぐる、魅力を伝えていきます。
78		広瀬川ガイドの養成	広瀬川の魅力を語りながら各スポットを案内する、地域の「広瀬川ガイド」を養成する。
79	各団体	広瀬川の生き物観察会	親子対象の生き物観察会を実施する。
80		ふ化及び稚魚放流事業	小学校や市民センター等と連携し、孵化および飼育のサポートや稚魚放流会への協力を行う。
81		広瀬川流域のまち歩き	広瀬川の流域を歩いて、魅力の再発見してもらう。
82		地域団体・NPO等による清掃活動	地域団体やNPO等による清掃活動を実施する。

広瀬川ゴールドサポーターの認定について

建設局百年の杜推進部河川課

- 広瀬川の自然環境の保全や賑わいの創出に貢献している活動団体に対して「広瀬川魅力創生サポーター」として認定する制度を平成31年4月1日に創設した。

広瀬川グリーンサポーター



広瀬川創生プランの取組事業に
延べ10人以上従事

R元年度: 11団体
R2年度: 1団体
R3年度: 1団体
を認定

広瀬川ゴールドサポーター



グリーンサポーターの認定期間中に次のいずれかの活動に従事

- ✓ 「広瀬川1万人プロジェクト」清掃活動の会場事務局
(又は補助)を3年以上担当
- ✓ 広瀬川創生プランの重点事業の主催団体 (又は補助)
として2回以上活動 (うち1回は重点事業以外の事業でも可)

■ 広瀬川魅力創生サポーター認定制度実施要綱 第8条第2項ただし書きより

ただし、広瀬川ゴールドサポーターの認定又は不認定の決定にあたっては、

市長は前項に規定する審査の結果に関して、

あらかじめ協議会に意見を聞かなければならない。

- 今回、**3**団体から広瀬川ゴールドサポーターの申請があったため、本協議会で報告する。

【広瀬川ゴールドサポーター申請 No.1】

- **団体名** : 株式会社深松組
- **代表者** : 代表取締役社長 深松 努
- **活動実績** : **第28回広瀬川流域一斉清掃** (R元.9.28 澱橋会場**事務局**として活動)
第29回広瀬川流域一斉清掃 (R2.9.26 澱橋会場**事務局**として活動)
第30回広瀬川流域一斉清掃 (R3.10.2 澱橋会場**事務局**として活動)
- **ゴールドサポーター認定期間**
: 令和4年4月1日から令和6年3月31日まで (2年間)

<第28回一斉清掃>



<第29回一斉清掃>



<第30回一斉清掃>



【広瀬川ゴールドサポーター申請 No.2】

■ **団体名** : 特定非営利活動法人都市デザインワークス

■ **代表者** : 代表理事 榊原 進

■ **活動実績** : 【令和2年度重点事業】

広瀬川Health & Recreation (R2.9.9 **事務局**として活動)

【令和3年度重点事業】

ヒロセガワプレーパーク (R3.12.14 **事務局**として活動)

■ **ゴールドサポーター認定期間**

: 令和4年4月1日から令和6年3月31日まで (2年間)

<広瀬川Health&Recreation >



<ヒロセガワプレーパーク>



【広瀬川ゴールドサポーター申請 No.3】

- **団体名** : 株式会社建設技術研究所 東北支社
- **代表者** : 常務執行役員 東北支社長 天野 光歩
- **活動実績** : **第28回広瀬川流域一斉清掃** (R元.9.28 牛越橋会場**事務局**として活動)
- 第29回広瀬川流域一斉清掃** (R2.9.26 牛越橋会場**事務局**として活動)
- 第30回広瀬川流域一斉清掃** (R3.10.2 牛越橋会場**事務局**として活動)
- **ゴールドサポーター認定期間**
: 令和4年4月1日から令和6年3月31日まで (2年間)

<第28回一斉清掃>



<第29回一斉清掃>



<第30回一斉清掃>



広瀬川グリーンサポーターの認定の 報告について

建設局百年の杜推進部河川課

広瀬川グリーンサポーターの認定について(報告)

■令和4年3月31日に広瀬川グリーンサポーターの認定期間の満了を迎える11団体のうち、3団体がゴールドサポーターの申請を行い、以下の5団体が認定の更新を行った。

団体名	代表者名	認定された活動実績	認定期間
東鉄工業株式会社 東北支店	執行役員 支店長 野村 修也 様	第28回一斉清掃(14人参加) 第29回一斉清掃(3人参加) 第30回一斉清掃(5人参加)	令和4年4月1日～ 令和6年3月31日
ニッカウキスキー株式会社 仙台工場	工場長 牧野 弘明 様	第28回一斉清掃(25人参加) 第30回一斉清掃(7人参加)	令和4年4月1日～ 令和6年3月31日
株式会社阿部砂利建設	代表取締役 菅原 裕美子 様	第28回一斉清掃(13人参加) 第29回一斉清掃(5人参加)	令和4年4月1日～ 令和6年3月31日
株式会社NJS 仙台事務所	所長 新井山 幹樹 様	第29回一斉清掃(12人参加) 第30回一斉清掃(14人参加)	令和4年4月1日～ 令和6年3月31日
株式会社開成エンジニアリン グ	代表取締役 高橋 善夫 様	第12回作並かつぱ祭り(3人参加) 第28回一斉清掃(6人参加) 第29回一斉清掃(6人参加) 第30回一斉清掃(4人参加)	令和4年4月1日～ 令和6年3月31日

■令和3年度に以下の1団体が新規に申請し、認定を受けた。

団体名	代表者名	認定された活動実績	認定期間
公益財団法人みやぎ・ 環境とくらし・ネットワー ク水部会	水部会長 山田 一裕 様	第17回「身近な水環境の全国一斉調査」 [広瀬川の水質調査](6人参加) 第18回「身近な水環境の全国一斉調査」 [広瀬川の水質調査](7人参加)	令和3年9月16日～ 令和6年3月31日

第40回全国都市緑化仙台フェア基本計画 概要版

1 全国都市緑化フェアについて

全国都市緑化フェアは、都市緑化の意識の高揚、都市緑化に関する知識の普及等を図ることにより、国、地方公共団体及び民間の協力による都市緑化を全国的に推進し、もって緑豊かな潤いのある都市づくりに寄与することを目的として開催するものです。また、期間中には中心的行事として「全国都市緑化祭」が開催され、皇室のご臨席を賜ることが通例となっています。

仙台市では、平成元(1989)年度に七北田公園で「'89グリーンフェアせんだい」を開催しました。

開催自治体	第7回 平成元年度 (1989)	第36回 令和元年度 (2019)	第37回 令和2年度 (2020)	第38回 令和3年度 (2021)	第39回 令和4年度 (2022)
	仙台市	長野県・ほか4市	広島県・広島市 ほか22市町	熊本市	北海道・恵庭市



第7回'89グリーンフェアせんだい



第36回信州フェア



第37回ひろしまフェア

2 第40回全国都市緑化仙台フェアの開催について

仙台フェアの開催される令和5年は、杜の都の緑豊かな都市環境の形成に大きな役割を果たした「杜の都の環境をつくる条例」の制定から50周年の節目の年となります。

以下のとおり、本市において緑化フェアを開催する意義を整理し、次に掲げる開催テーマや基本方針のもと、仙台フェアを実施します。

開催意義

1. 次世代へと続く新たな「百年の杜づくり」
2. みどりと親しむ生活と新たな交流の創出
3. 東日本大震災からのみどりの復興と防災のまちづくりの発信

テーマ

杜の都から始まる未来、みどりを舞台に人が輝く

基本方針

1. 杜の都のみどりの可能性を発信するフェア
2. 杜の都のみどりを体感するフェア
3. 次世代の担い手を育むフェア
4. みどりと花に囲まれたライフスタイルを生み出すフェア
5. みどりを通じて人がつながり、まちが賑わうフェア

- 4 性の高い教育をみんなに
- 6 安全な水とトイレを世界中に
- 9 産業と技術革新の基盤をつくろう
- 11 住み続けられるまちづくりを
- 12 つくる責任つかう責任
- 13 気候変動に具体的な対策を
- 14 海の豊かさを守ろう
- 15 陸の豊かさも守ろう
- 17 パートナーシップで目標を達成しよう

3 基本的事項

名 称	第40回全国都市緑化仙台フェア
愛 称	未来の杜せんだい2023 ～Feel green!～
主 催 者 等	主催者：仙台市、公益財団法人都市緑化機構 事業主体：第40回全国都市緑化仙台フェア実行委員会
開 催 期 間	令和5(2023)年4月26日(水)～6月18日(日)(54日間)
目 標 入 場 者 数	メイン会場、まちなかエリア会場、東部エリア会場の合計で、100万人の入場を目標とします。
入 場 方 式	メイン会場への入場は無料とし、一部有料のプログラムやコンテンツを実施します。
事 業 費	概ね16億円とします。

4 会場計画

仙台フェア開催の意義、開催テーマ、基本方針等を踏まえ、エリアごとのコンセプトを定めながら会場を設定します。

メイン会場	都心部の新たな緑のネットワーク拠点となるエリア	<ul style="list-style-type: none"> ■ 青葉山公園追廻地区 杜の都のみどりある暮らしを楽しむ、にぎわいのエリア ■ 西公園南側地区 杜の都の風景や自然に親しみ、みどりと遊ぶエリア ■ 広瀬川 広瀬川の新たな魅力に出会うエリア
	都心部に回遊性を創出し、フェアの盛り上がりをも街全体に波及させる取り組みを進めるエリア	<ul style="list-style-type: none"> ■ 仙台駅ペDESTリアンデッキ ■ 宮城野通 ■ 青葉通 ■ 定禅寺通
	震災の記憶の継承、みどりの復興の発信や、自然に触れながら家族で楽しめる事業展開を図るエリア	<ul style="list-style-type: none"> ■ せんだい農業園芸センター みどりの杜 ■ せんだい3.11メモリアル交流館 ■ 震災遺構仙台市立荒浜小学校 ■ 海岸公園 ■ 高砂中央公園(仙台うみの杜水族館)
連携会場	<ul style="list-style-type: none"> ■ 仙台市八木山動物公園 ■ 仙台市野草園 ■ 東北大学 学術資源研究公開センター 植物園 など 	

メイン会場ゾーニングプラン

青葉山公園追廻地区 会場

アーバンフォレストゾーン

みどりあふれるパブリックスペースをイメージした空間演出を行い、杜の都・仙台のまちなかのみどりで憩うライフスタイルを発信

もりの庭園ゾーン

- 青葉山の自然を感じさせる庭園や、造園の伝統の技や知恵を継承・発信する日本庭園
- 庭園内に整備する雨水貯留機能などを持つ「雨庭(あめにわ)」から、グリーンインフラの多様な機能や効果を発信



ウェルカムゾーン

メインゲートを仙台フェアのはじめにふさわしく花で修景し、ウェルカムガーデンやフォトジェニックスポットで来場者を歓迎



グリーンスクエアゾーン

広大な芝生広場で自由に憩うことができる会場とし、芝生での憩いと賑わいをつなげるイベントを展開

広瀬川地区 会場

河原に一面に広がる花畑により、広瀬川の新たな魅力を創出



西公園南側地区 会場

グリーンアクティビティゾーン

遊びながら自然を体感できるプログラムや、植物観察などをテーマとしたワークショップの開催等を通じて、親子で自然の大切さを学ぶことができる会場



水辺のテラスゾーン

仙台城跡のある青葉山、大橋、広瀬川を一望できる、花やみどりに囲まれたガーデンテラス



人が輝くグリーンライフゾーン

造園団体・企業が伝統の匠の技をつくした庭園や全国の自治体による花壇、市民活動団体等の作品展示



大花壇ゾーン

仙台城本丸から眼下一面に広がる、美しい色のグラデーションが楽しめる大花壇



杜のリビングガーデンゾーン

- 庭園の花やみどりを、仙台の気候風土の中で培われてきた“イグネ(居久根)”になぞらえ、自然と暮らしが調和するこれからのライフスタイルとして提案
- みどりや花があふれる庭園と飲食や休憩ができるスペースの配置を工夫した、自然を感じながらくつろげるリビングガーデン



まちなかエリア会場

場所	展開イメージ
仙台駅ペDESTリアンデッキ	ウェルカムガーデンや花の修景植栽によるおもてなしの演出
青葉通 宮城野通	街のにぎわいに彩りを添えるプランター修景、花壇設置
定禅寺通	ケヤキ並木や花に囲まれた憩いの空間整備、花壇設置



東部エリア会場

場所	展開イメージ
せんだい農業園芸センター みどりの杜	<ul style="list-style-type: none"> 季節を感じる花修景 子ども向けの体験プログラム
せんだい3.11メモリアル交流館 震災遺構仙台市立荒浜小学校	<ul style="list-style-type: none"> 震災特別企画展示
海岸公園	<ul style="list-style-type: none"> 市民参加による育樹プログラム 震災からのみどりの復興パネル展示
高砂中央公園 (仙台うみの杜水族館)	<ul style="list-style-type: none"> 市民参加による植樹プログラム 新しい公園を体験できるイベント

5 事業計画

- 観客誘致**
 - 仙台の豊かな自然環境の魅力を体感できる仙台フェアのPRやキャンペーンを展開するとともに、首都圏・関東地方及び東北地方を県外からの集客エリアとし、観光資源の魅力と合わせて発信するなど、効果的な集客事業を展開します。
- 広報宣伝**
 - 準備段階から積極的な情報発信を行い、開幕までの機運を高めるとともに、集客エリア、ターゲットに対応する媒体を活用し、効果的な広報宣伝を実施します。
- 飲食**
 - 会場のみどりや花の演出を活かした、豊かなみどりの中で楽しく食を堪能できる空間づくりとします。
- 物販**
 - 地場の食材や郷土料理等を取り入れたメニューを提供します。
 - みどりや花にちなんだグッズや花卉などの販売をします。
- 協働推進**
 - 子どもたちをはじめとした市民が花壇づくりや育樹活動などの花と緑に触れる体験を通じ、自然を学んだり緑化活動の楽しさを体感できる場とし、新たな担い手の育成につなげます。
 - フェアへの積極的な参加と協働により、フェア開催後の新たな緑の活動やコミュニティ形成などのレガシーへとつなげます。



フォトジェニックスポットの設置



みどりのある空間で寛ぎある食体験の提供



子どもたちや市民との会場づくり

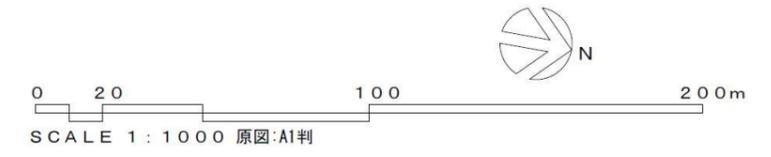
6 事業スケジュール

	R2 (2020) 年度	R3 (2021) 年度	R4 (2022) 年度	開催年 R5 (2023) 年度	
事業計画	基本構想	基本計画	実施計画	会場運営・開催準備	仙台フェア開催
		大臣同意・開催決定	会場設計	会場整備	撤去
実行体制		★ 実行委員会 設立・総会	★ 総会	★ 総会	★ 実行委員会 解散

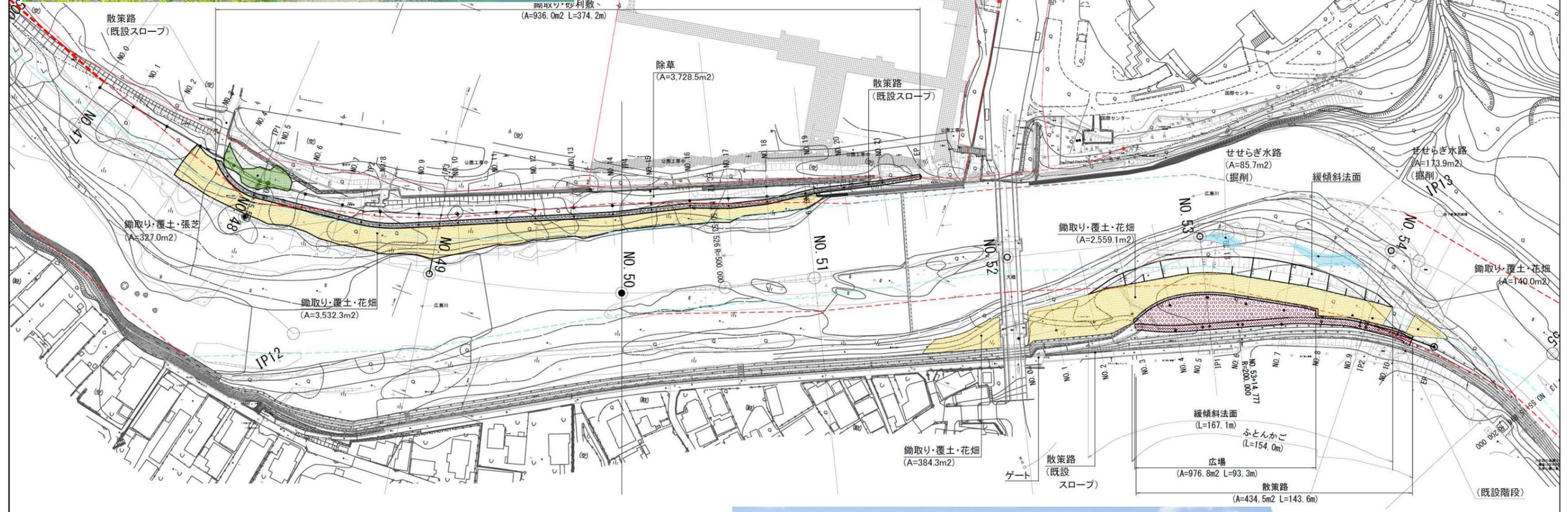


青葉山公園側河川敷 イメージパース

広瀬川会場 全体平面図



青葉山公園



西公園側河川敷 イメージパース

西公園